

## 北鶴橋小学校・鶴橋小学校学校適正配置検討会議 安全対策専門部会（第1回）

## 【開催結果】

## ■ 開催日時、場所

令和5年8月9日（火）19時00分～ 鶴橋小学校 集会室

## ■ 議事

通学路とその安全対策について意見交換を行った。

## ◆主な説明事項等

【通学路の安全対策について】（行政より議事資料に沿って説明）

【新通学路決定までの流れについて】（行政より議事資料に沿って説明）

## ◆主な確認事項等

- ・現在の通学路案および安全対策については暫定的なものとし、今後実施する現地確認等により把握する課題に対し実施可能な安全対策を行う。また、開校後に実際の見守り活動や児童の状況により適宜通学路の変更や新規の安全対策を検討していくものとする。
- ・北鶴橋小学校区から鶴橋小学校区までの通学路は、北鶴橋地域の委員と北鶴橋小学校・区役所で、鶴橋小学校区の通学路は、鶴橋地域の委員と鶴橋小学校・区役所で調整・検討し、交流地点・重複する部分の調整・検討はこの安全対策専門部会で諮ることとする。なお、北鶴橋小学校区から生玉片江線を渡る通学路は、疎開道路から東西に各1箇所を原則に検討を行う。
- ・「通学路課題管理表」に各地域での現時点での課題をリスト化のうえ、次回の安全対策専門部会で報告する。
- ・次回の安全対策専門部会の日程は、第5回の検討会議以降で調整する。

## ◆主なご意見等

- ・北鶴橋小と鶴橋小の児童が合流する地点については100名以上の児童が通過する。出発時間をずらすなどの工夫はできないか。
- ・疎開道路は事故が多発しており不安。
- ・見守り活動は20年以上前から実施している。子どもの人数や状況で体制を変更してきた経過もある。今決めた内容が未来永劫このままというものではないはず。机上での議論だけではいけない。実際にやってみて、状況に応じ、より子どもたちが安全に通学できるよう変えていけばよい。
- ・北鶴橋と鶴橋の見守り隊同士の話し合いも必要ではないか。

- ・現在の見守り隊の方々も大半が高齢であることから、区役所、学校、保護者、地域で協力しあって子どもの安全を見守っていくことが大事。
- ・資料にR 6年度中に予算確保、R 7年度に実施、とあるが、大規模な安全対策が必要となった場合、R 8年4月の開校に間に合うのか。  
→資料に記載しているものは単年度で実施できるものを想定していた。工作物など、大規模で複数年に渡り施工すべきものであれば、R 5年中から予算確保・早期実施に向け動き出す必要がある。
- ・北鶴橋小の低学年が歩かなければいけない距離の長さが心配。通学路の安全対策において、特に設備に関する部分は北鶴橋小からの要望を中心に聞いてあげてほしい。
- ・時間帯交通規制されている道路もあるが、規制対象の時間帯も車両がよく通行しており危険。表示も少なく、目立っていない。
- ・通学路の横断歩道について、歩行者用の青信号の時間を長くできないか。
- ・学年ごと、いきいき参加状況によっても下校時間帯はバラバラである。1年生だけで帰らないといけない場合も想定して安全対策を検討すべき。
- ・仕事や家事などの都合により、夕方の見守り活動は難しいのが現状。
- ・街灯があるところ、ないところを確認しておく必要があるのではないか。夏と冬では下校時の明るさが違うのではないか。
- ・地域としては危険箇所や課題は一定認識しているので、地域へ持ち帰り「通学路課題管理表」へ書き出してみたいと思う。